

Ⅲ 各務原市図書館の沿革

| 年 | 内容 | 年 | 内容 |
|------------------|---|------------------|--|
| 昭和38年 (1963年) | ・ 県立図書館の移動図書館車『ひばり号』による巡回文庫が始まる | 平成13年 (2001年) | ・ 祝日開館を実施 ・ 敦賀市立図書館と『リレーメルヘン事業』を開始 |
| 昭和39年 (1964年) | ・ 市読書サークル連絡協議会が設立 | 平成14年 (2002年) | ・ 『利用カード』を新デザインに変更 |
| 昭和40年 (1965年) | ・ 全市献本運動が行われ、約1,500冊が蘇原支所図書室へ集められる | 平成15年 (2003年) | ・ 日曜日・祝日の閉館時間を17時から19時に延長 ・ 利用カードの制限(市内在住・在勤・在学)を撤廃 |
| 昭和41年 (1966年) | ・ 読書サークル・婦人会を中心に、図書の貸出利用が始まる | 平成16年 (2004年) | ・ 『もりの本やさん』で貸出を開始 ・ 貸出冊数を5冊から10冊に変更(移動図書館車を除く) ・ 川島町との合併で『川島ほんの家』が分館となる ・ インターネットによる蔵書検索を開始する |
| 昭和42年 (1967年) | ・ ライトバンによる巡回図書貸出が始まる | 平成17年 (2005年) | ・ レファレンス窓口を一階受付カウンターに増設 ・ 『もりの本やさん』に一般書図書室を設置 |
| 昭和44年 (1969年) | ・ 武藤嘉一氏(初代市長)より図書1,450冊の寄託を受け、那加公民館に『武藤嘉一文庫』が開設される | 平成18年 (2006年) | ・ インターネット予約を開始 ・ 貸出冊数延700万冊突破 ・ 貸出利用者数延200万人を突破 ・ 中部学院大学附属図書館と相互協力の覚書締結 |
| 昭和46年 (1971年) | ・ 移動図書館車『ともしび号』を購入し、隔月巡回の運行を開始 | 平成20年 (2008年) | ・ 総合教育メディアセンターを廃止、中央図書館に統合 |
| 昭和51年 (1976年) | ・ 各務原ライオンズクラブより『ともしび第2号』を寄贈 | 平成21年 (2009年) | ・ 子どもの読書活動推進計画を策定 |
| 昭和52年 (1977年) | ・ 中央公民館に図書室設置 | 平成22年 (2010年) | ・ 貸出冊数延1,000万冊を突破 ・ 夢ある都市第2弾『本の街』づくり宣言 |
| 昭和53年 (1978年) | ・ 保健文化会館内に市図書館を開設 | 平成23年 (2011年) | ・ 『本の街かかみがはら』スタート ・ 『中央図書館』『もりの本やさん』リニューアル ・ 移動図書館車『さつき号』更新 ・ 『新緑』『秋』ブックフェスティバル開催 ・ 『旅する本』事業開始 |
| 昭和54年 (1979年) | ・ 市図書館で身体障がい者に図書の郵送貸出開始 | 平成24年 (2012年) | ・ 『新緑ブックフェスティバル』8,000人、『秋のブックフェスティバル』9,000人を集客 |
| 昭和56年 (1981年) | ・ 市図書館で点字図書の郵送貸出を開始 | 平成25年 (2013年) | ・ 『新緑』『秋』ブックフェスティバル開催 ・ 『マナーアップキャンペーン』を実施 ・ 市制50周年記念として、オリジナルブックカバーを作成(各務原ブランド推進事業) |
| 昭和59年 (1984年) | ・ 岐阜カンツリー倶楽部より移動図書館車『さつき号』を寄贈 | 平成26年 (2014年) | ・ 『新緑ブックフェスティバル』を開催 ・ 図書館システムを更新、クラウド型の図書館情報システムを導入 ・ セルフ貸出機2台を設置 ・ 貸出冊数を10冊から30冊に変更 ・ インターネットによる貸出延長を開始 ・ 秋のブックフェスティバルを改め、セレクトマーケットと共に『マーケット日和』としてリニューアル開催 |
| 昭和63年 (1988年) | ・ 市図書館で録音テープ図書の郵送貸出を開始 | 平成27年 (2015年) | ・ みんなのおはなし会を開催 ・ 青空古本市等をマーケット日和で開催し、図書館と学びの森の2会場で20,000人を集客 ・ 第1回ビブリオバトルを開催 ・ 鶴沼駅空中歩道に図書返却ポストを設置 |
| 平成元年 (1989年) | ・ 新図書館(中央図書館)の建設が決まり、市図書館等建設専門委員会による建設に関する意見書がまとまる | | |
| 平成3年 (1991年) | ・ 市民公園に『中央図書館』、日本ラインうめまの森に『もりの本やさん』を開館 ・ 中央図書館、分館、もりの本やさんのオンライン化を図る | | |
| 平成4年 (1992年) | ・ 利用登録者2万人を達成 ・ 中央図書館開館以降、貸出利用者数延10万人突破 ・ 中央図書館開館1周年記念事業として『かかみ野手づくり絵本コンテスト』を開催 | | |
| 平成6年 (1994年) | ・ 新移動図書館車『さつき号』を購入し運行を開始 | | |
| 平成7年 (1995年) | ・ 貸出利用者数延50万人を突破 | | |
| 平成10年 (1998年) | ・ 夏休み期間中の開館時間10時から9時に変更 | | |
| 平成11年 (1999年) | ・ 貸出利用者数延100万人を突破 | | |

| 年 | 内容 |
|------------------|--|
| 平成28年 (2016年) | <ul style="list-style-type: none"> 中央ライフデザインセンター図書室がリニューアルオープン(3階に移動、読み聞かせ用スペース新設) 青空古本市に加え、『一箱古本市』をマーケット日とで開催し、23,000人を集客 子どもの読書活動推進計画(第2次)を策定 |
| 平成29年 (2017年) | <ul style="list-style-type: none"> 教育センター(愛称:すてっぷ)を中央図書館4階に開設 埋蔵文化財調査センターが水道事業庁舎(三井東町)から中央図書館3階に移転 青空古本市を『ブックマーケット』と名称を改め、マーケット日とで開催 |
| 平成30年 (2018年) | <ul style="list-style-type: none"> 各務原市歴史民俗資料館が中山道鵜沼宿町屋館から中央図書館3階に移転 ジュニア司書養成講座を開催 講演会(沖方丁)、ブックマーケットなど、マーケット日とで開催 |
| 令和元年 (2019年) | <ul style="list-style-type: none"> トークショー(澤田瞳子)、絵本クリエイター展、アウトドアライブラリー、ビブリオバトル、ワークショップをマーケット日とで開催 |
| 令和2年 (2020年) | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、全館一斉臨時休館(3月3日～6月1日) 全館に書籍消毒機を導入(8月) 電子図書館の運用を開始(10月1日) 中央図書館30周年記念事業『記念しおり』デザイン作成(一般及び子どもの部で各グランプリ決定) |
| 令和3年 (2021年) | <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館、もりの本やさん開館30周年 各グランプリ受賞作品『記念しおり』を配布(4月2日～) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、全館一斉臨時休館(8月21日～10月1日) |
| 令和4年 (2022年) | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動推進計画(第3次)を策定 『ジュニア司書クラブ』を発足 中央図書館開館30周年記念講演会を開催(高島純、古川周賢、中山七里) |
| 令和5年 (2023年) | <ul style="list-style-type: none"> 鵜沼市民サービスセンターに図書返却ポストを設置 移動図書館土曜日運行を開始(第4土曜日) 障がい者サービスとして特別開館を開始 市制60周年記念事業、岐阜県図書館名誉館長アウトリーチ事業 紺野美沙子朗読会を開催 |
| 令和6年 (2024年) | <ul style="list-style-type: none"> デイジー図書の貸出利用の拡大(ハンディキャップサービス) 『みんなの図書館プロジェクト』市内の高校・大学との連携事業を開始(令和8年度まで) |